

2014年度 島根大学医学部 英語 過去問 解説

▶ 英文のテーマは日常生活に関するものが多い。長文読解は3題出題されるが、難易度はセンターレベルから、語彙、内容が複雑で難しいものまで様々である。例年、大問1、2は読みやすく、大問3は医学部専用の問題であるため難しい。

解答方式	時間	大問数	難易度
記述式	120分	5問	やや難

■ 設問別分析

大問	区分	内容	難易度
1	長文読解	物語文。和訳、説明問題	標準
2	長文読解	エッセイ。和訳、説明問題	センター
3	長文読解	論説。和訳、説明問題	難
4	英作文	下線部英訳	標準
5	英作文	自由英作	標準

■ 最新問題 ポイント解説

1

標準的な物語文。語彙も難しいものは無く、読みやすい。和訳問題の分量が多いため、訳語の作り方、構文の把握などの練習を積んでおく。

問4の *Angered that the wise man could be so ignorant, the farmer stormed back to the village.* がやや難しい。

→ 過去分詞から始まっているため、分詞構文であると判断できる。前半部分の主語も後半同様 *the farmer* であるため、「農夫はその賢い男がそんなにも無関心であることに腹を立て～」と訳す。後半の *storm back* は意味がとりづらいが、後ろに *to the village* とあることや、農夫が *the wise man* のところを訪ねている文脈から、「村に帰った」ということが分かる。*storm* の本来の意味は「嵐」であるので、「嵐のような勢いで帰った」→「もの凄い剣幕で帰った」とする。

2

おしゃべりだった自分が沈黙の大切さを学んだことについて書かれたエッセイ。こちらも平易な文章で読みやすいので、確実に得点しなくてはならない。

和訳問題では文型倒置(任意倒置)が出題されているため、パターンを網羅しておきたい。

問1 Even the things that I'm not proud of, I accept as part of my journey to where I am today.

カンマの前に名詞だけが来ていること、acceptの目的語が無いことに注意して倒置を見抜く、acceptは本来 accept A as B という形をとることを覚えておけば良い。accept以外でもある動詞は普段どんな形をとっていたか考えると、倒置を見抜くことができる。

ここではAに当てはまるものが the things that I'm not proud of として文の前に倒置されている。

和訳：誇りに思えないことでさえ、私は、今の私にたどり着く道のりの一部として受け入れている。

文型倒置のパターンは以下の通り。

第一文型	SVM→MVS
第二文型	SVC→CVS
第三文型	SVO→OSV
第四文型	SVOO→OSVO
第五文型	SVOC→SVCO, OSVC

要は「Oが前に出る」、「イコールのものがひっくり返る」と考えれば良い。

3

健康の定義に関する英文。島根大学医学部医学科の大問3は例年、語彙レベルも高く、構文がとりづらいものが出題されているので、差がつく問題である。

問1 Given that we now know the important influence of the genome in disease, even the most optimistic health advocate surely has to accept the impossibility of risk-free well-being.

→given that ~は「that以下のことを条件として与えられる」という直訳から、「~とすると」「~なので」と訳すことができる。health advocateの役がとりづらく、直訳は「楽観的な健康支持者」であるが、同段落の a transformative vision of "health for all"や negative conception of health などの vision や conception の「考え」という意味を受け、「健康について考えがある人」とする。

また、risk-free は barrier-free 「バリアフリー(障壁が無い)」と同様に「～が無い」と考えればよいが「リスクが無い」としては意味が伝わらないため、well-being と合わせて「損なわれる恐れのない健康」とする。

impossibility of risk-free well-being は impossibility が形容詞派生の名詞であるため、SVC の形に直して訳すとよい。ここでは risk-free well-being is impossible 「損なわれる恐れのない健康は不可能だ」→「健康は確実に損なわれる」とする。2重否定と捉えることで、強い肯定として訳している。

和訳：現在ではゲノムが病気に重要な影響を与えることが分かっているので、健康についてどんなに楽観的に考えている人でさえ、健康は確実に損なわれるということを認めなくてはならない。

4

例年下線部英訳が出題されている。

今年度は「静かな図書館に行くんじゃなくて、あえて騒々しいファミレスやファーストフード店を選ぶんです」といった、口語的な日本語文が出題されている。

どんな文章が出されても基本姿勢は「日本語を自分が英語にできる表現に言い換える」である。

5

下線部英訳、こちらも医学部専用の問題なので、難易度が上がる。

今年は「目先の流れに左右されない大局観」とあるが、「左右される」は depend on という熟語を知っているはずなので、「左右されない」は independent of とし、「目先の流れ」は「今の流行」で current trends、つまり a perspective independent of current trends のようにするとよい。